



あべ かよ こ
阿部加代子
(公明党)

●閉架図書の活用を ●学ぶ機会の充実を ●医療展示の啓発を

質問 閉架図書の現状について伺う。閉架図書として保管する

事も必要だが、市民の財産である図書の更なる活用方法を検討すべきと考えるが。

教育委員長 市内図書館の蔵書

総数は約52万冊。そのうち閉架書庫に約21万9千冊で、内訳は水沢約14万7千冊、江刺3万4千冊、前沢1万4千冊、胆沢2万1千冊、衣川2600冊である。閉架図書については、利用者端末やインターネットで検索でき要望があれば閲覧や貸し出しを行っている。利用者の要望に叶うよう努めていく。

質問 学習支援について伺う。

「子どもの将来が生まれ育った環境で左右されることがないよう必要な環境整備と教育の機会均等を図り、貧困が世代を超えて連鎖する事を無くす。」と国の基本的理念が打ち出された。不登校生、学習の遅れがちな児童生徒への対策はどのよ

うに取られているのか。

教育委員長 不登校生へは適応

指導教室「フロンティア奥州」で、学習に遅れがあってもチームティーチング指導や少人数指導、放課後指導、長期休みの補充指導を行ない適切な学習支援に努めていく。

質問 医療展示による健康啓発

活動を地域や幼保・小中学校で取り組むべきと考えるが。

市長 地域保健活動においても

医師会のご協力を得て、医療関係情報の展示も含め健康に関する普及啓発の充実に努める。

教育委員長 展示は体の健康を

学ぶ上で有意義であると捉えている。各学校に情報提供していく。



医療展示による健康啓発の一例



こん の ひろ ぶみ
今野 裕 文
(日本共産党)

●貯まり過ぎた基金を活用し、国民健康保険税の引き下げを

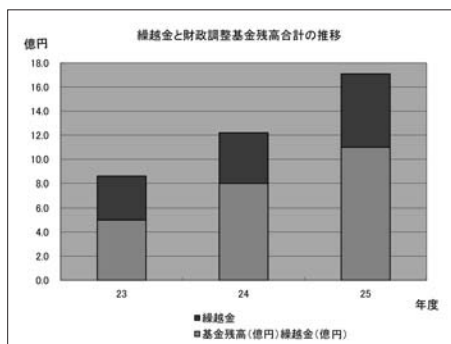
質問 国民健康保険の財政調整

基金は、税率を統一した年に、赤字分を補填するための6億円と、一人当たりの保険税が1・6倍にも跳ね上がるための激変緩和のため1億円が繰り入れられそのまま残っている。さらに、東日本大震災の被災地3県に特別調整交付金として手当てされたものが、そのまま積み増しされている。基金と繰越金で17億円にもなっているので、基金を取り崩し国保税を引き下げるべきでは。

市長 被災3県への特別調整交

付金は平成27年度で終了する。一人当たりの医療費は、全国平均で対前年度比3%増となっており、後期高齢者支援金や保険給付金の支出増が見込まれる。国保財政は今後厳しくなると判断しており、基金取り崩しによる見直しは慎重を期さなければならぬと思っている。

質問 医療費が3%増えても毎



繰越金と財政調整基金残高合計の推移(奥州市)

年2億5千万円ほどの増で、今ある基金を5年取り崩してもなお残る計算である。なぜ単年度収支と言っているのか。特に被災3県へ手当てされている特別調整交付金は、積み立てるために交付されているのか。

市長 決して積み立てるべき費

用としては考えていない。ある財産については、より市民の立場にたち、痛みを緩和する、希望をつなぐために使うべきだという考え方も大きくあり、よりよい方法はどこにあるのか、検討し実行しなければならぬと考えている。